

Feature Articles

有料多チャンネル放送
未来を拓く、次なる一手〈後編〉

- 12 GAORA SPORTS
14 囲碁・将棋チャンネル

Special Reports

- 16 「AI・人工知能 EXPO」
18 韓国「KOBA2023」
22 開催直前情報「COMNEXT2023」

New Series

- 6 JDS Challenge 「ライブビューイング事業」

Close-Up New Solution

- 8 サイバー・ネット・コミュニケーションズ

Interview Series

- わが社の2030ケーブルビジョン
10 宅見公志氏 となみ衛星通信テレビ(株) 代表取締役専務

Convention Report

- 36 「メタバース活用EXPO 2023」 取材・文/神谷直亮

Special Report & Topic

- 24 NHK技研公開2023
56 CRI プラス「ローカル5G×スマートシティYOKKAICHI Great Expo」視察ツアー
58 ispace

Series Articles and Columns

- 25 自他傍和囲我也(じたばたわいがや) ⑥ 文/穂積 融
26 放送ビジネスの政治経済学 ⑦ 文/音 好宏
28 メディア・リサーチ「決算から浮かぶテレビ局の新ステージ」文/鈴木祐司
30 地産飛翔〜ケーブルビジネス関連動向(気になるトピック / 機器チェック!)
38 アジア衛星TV最新情報 ⑧ 文/長瀬博之
40 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
46 Official Information
衛星放送協会 / スカパーJSAT / 日本ケーブルテレビ連盟 / 日本CATV技術協会 / 日本ケーブルラボ / CRI / インテルサット
52 Information 新作映画紹介 & Convention
53 考えるメディア ⑨ 文/福田 淳
54 ワハハ本舗 喰始のエンターテイメントのツボとボツ ⑩ 文/喰 始
59 NEWS FILE 2023年5月1日~5月31日

DATA

- 34 CS-CHANNEL RANKING
64 定期購読のおすすめ
65 購読オーダーシート
66 Back Number

〈編集部より〉猪股英紀氏の「メディアまんだらげ」はお休みとなります

〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSベイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、2023年6月10日に弊社HP (<https://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2023年6月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子/編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



メディア融合時代到来!

【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



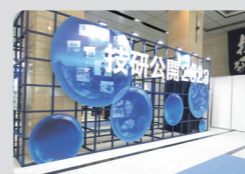
※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて



CLOSE SHOT

GLYM SPANKYの
3Dライブ

NHK 「技研公開2023」開催 “メディアを支え、未来を創る”



「技研公開2023」が6月1日~4日にかけて開催された。技研公開は、最新の研究成果を一般公開するイベント。展示品は、「実用段階」「短期」「中長期」と実現期間が示されており、あ

どのくらいで実現可能な技術であるかが分かるようになっていた。

注目を集めていたのが「GLYM SPANKYの3Dライブ」上映会。22.2chサラウンドと大画面で楽しむ3Dライブは、まさに次世代のライブエンターテイメントといったもの。もうひとつが、柔軟なゴム基板を使った伸縮可能なLEDディスプレイ。ゴム基板を使ったLEDは将来的なドーム型ディスプレイ実現に向けた技術で、各画素を伸縮配線と接続することで、ディスプレイを自由に伸縮させることができるという。このほかにも、NHKがユニバーサルサービスとして取り組んでいる手話CGをはじめ、解説音声や字幕、翻訳なども多数展示されていたほか、Webベースでの放送メディア、地上



波4K放送に向けての技術開発、AIによる番組自動要約システムなど実用段階や短期実現のものも多数あり、来場者の興味を引いていた。また、テレビ番組を見ながらおしゃべりできる視聴ロボットや、海中撮影VRなど、一般の人たちも楽しめるテクノロジーも人気があった。

「技研公開2023」のレポートはP24参照。

技研公開HP (<https://www.nhk.or.jp/strl/open2023/index.html>)